

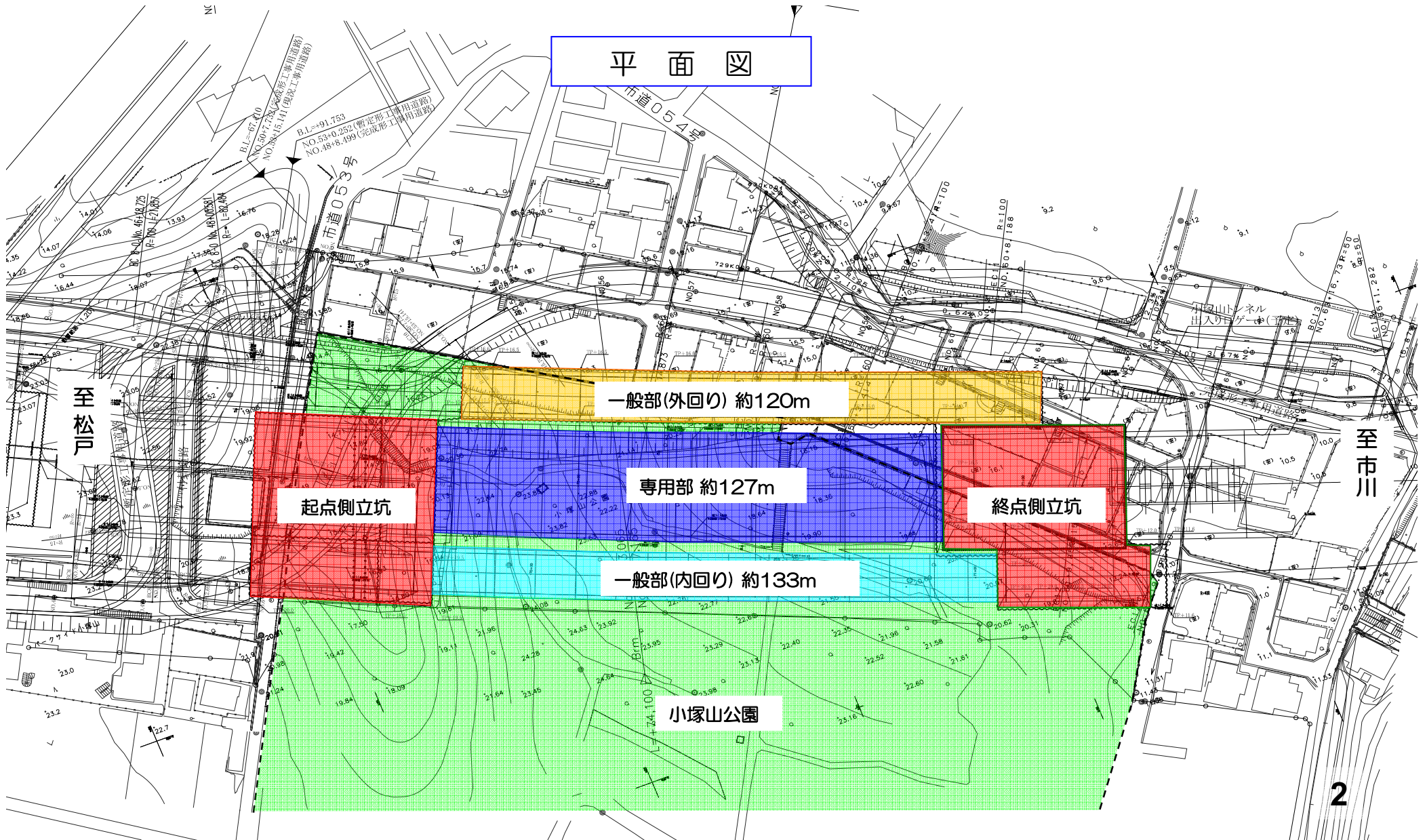
# 小塚山トンネル工事の環境保全対策

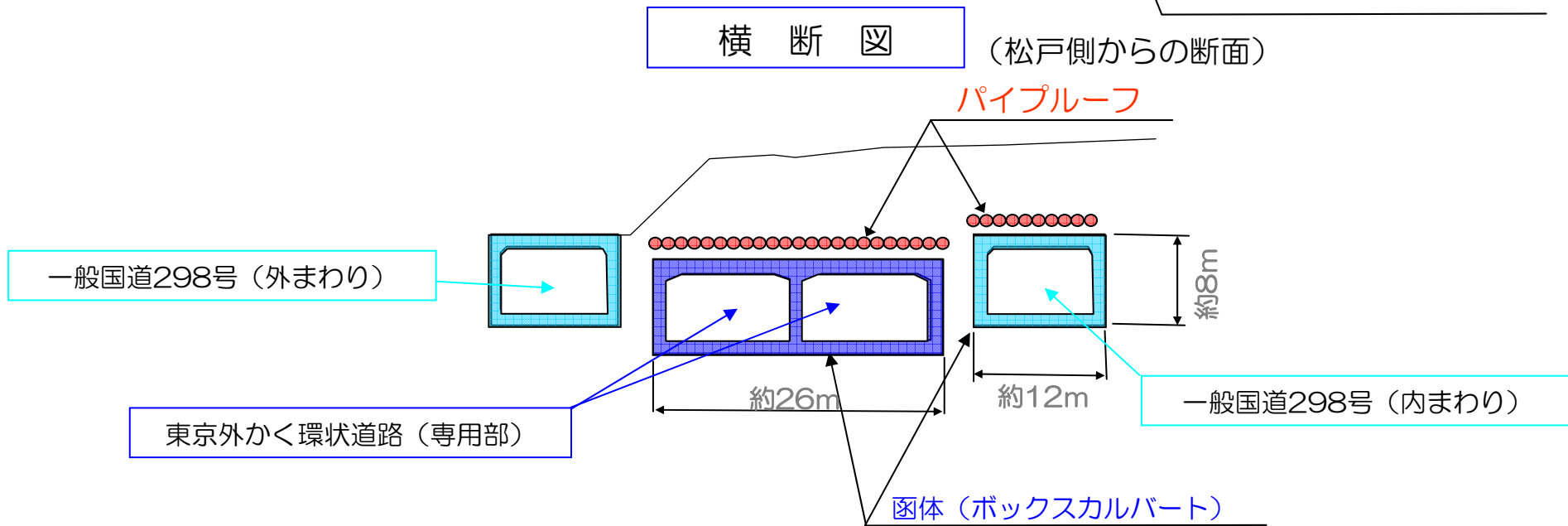
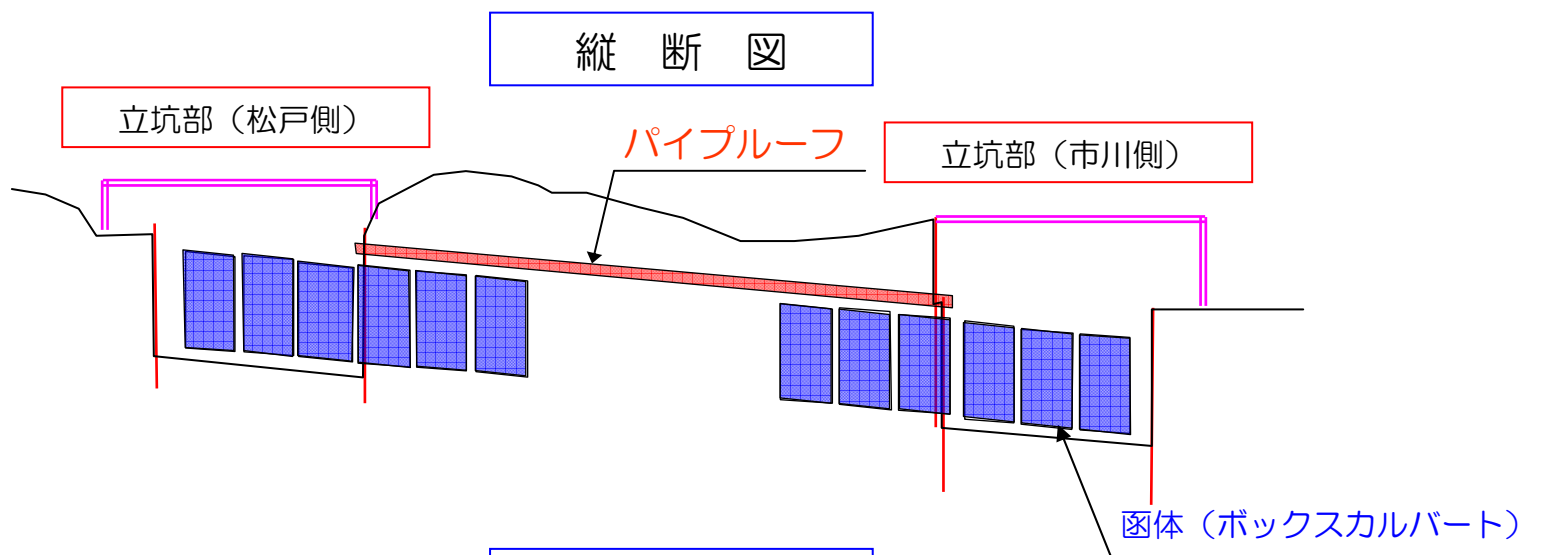
## 【 施工概要 】

- ①東京外郭環状道路（一般国道298号）の小塚山トンネルは、市川市北国分1丁目地先の小塚山公園の下を通る、専用部（4車線）及び一般部（内回り（2車線）・外回り（2車線））の延長約130mの3本のトンネル（函体）を構築する工事である。トンネル工事のうち、専用部及び一般部内回りは、パイプルーフを挿入し屋根を造った状態で、立坑内で製作した函体をジャッキを用いて押し込む（フロンテジャッキ+ESA工法）工法で行っている。一般部外回りは、地上から土留めをしながら掘削し、掘削後に函体を構築する開削工法で行っている。
- ②24時間施工による、周辺住民の方への騒音軽減対策として起・終点の立坑部に「防音ハウス」を設置した。防音ハウス本施工に先立ち、実際の防音ハウスと同様の材質・構造で造った小型防音ハウスを使用した、効果体験会を平成18年10月に実施し、近隣住民の方約20名にご参加頂き、その効果を体験して頂いた。
- ③24時間施工の実施については、平成19年6月下旬より実施しているが、実施に先立ち22時までの夜間施工により周辺への影響を確認しながら、約1週間の試行期間を踏まえた後、24時間施工に移行するなど段階的に行った。
- ④施工中の騒音・振動を測定し、工事による周辺環境への影響を確認しながら慎重に工事を進めている。

# 小塚山トンネル工事 概要図

平面図





# 移植から防音ハウスの設置まで

着工前



終点側立坑  
設置箇所

樹木仮移植

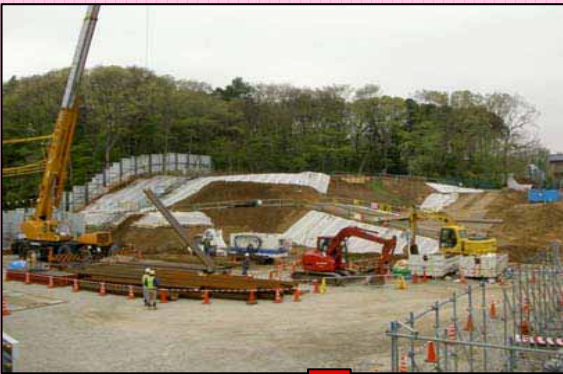
使用機械



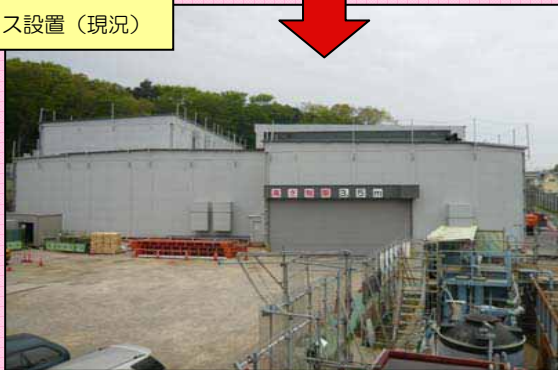
運搬状況



防音ハウス設置（現況）



立坑構築



# 環境保全対策状況（1）



## 環境保全対策状況（2）



# 小塚山付近の整備イメージ(案)

